

イギリス有力紙のジャーナリストが KDA を取材訪問！

KDA 特報

2008年5月20日、[財経経済広報センター](#)の「英国ジャーナリスト招聘プログラム」において、日本の産業を支える中小企業の取材・調査のために、イギリスから有力紙のジャーナリストの方々4名がKDAを訪問しました。



取材は約一時間半、KDA 本社にて当社社長と副社長に様々なインタビューがなされ、その後羽田工場を見学しました。

その中で、ジャーナリストの方々は、現在第三次産業が拡大し、第二次産業はその影に隠れる様相となっているイギリスと、今も尚第二次産業（ハイテク産業）が強い日本を対比し、お互いの良き進行点、更に問題点を挙げながら、いかに国際競争に臨んでいくかというテーマで質問され、更にお互いの意見交換も行われました。



日本の中小企業は、現在、昔のようにただ一生懸命やって維持できる状況ではなくなった。海外を含めた他ではできない技術や製品を作ることができなければ生き残っていけない。そのために研究開発を行っている。今後イギリスはアメリカに代わり、世界マネー経済の主導的立場に立ち、良き産業に投資して欲しい。日本にもたくさん独自の技術を持つ優良な中小企業があるので、これからぜひ皆さんの力を期待したい。と木田社長。



日本の企業は、研究開発に力を入れており素晴らしい。しかしもっと外部からの投資を受けたり、政府からの助成が行われれば更に良くなるのでは。イギリスでは、日本のような中小製造業は影を潜めてしまったが、政府の改革、外国からの投資も盛んになり、市場ニーズを掴んだオリジナルで優良な製品を創出できる企業が育ち、国家を支えるようになった。とジャーナリストの一人が述べた。

その他にもたくさんの交流がなされ、アットホームな雰囲気です。

直後、改めてイギリス経済紙「フィナンシャル・タイムズ」より取材がありました。現在 KDA は、自社開発セラミックスネジ

の取引が、ヨーロッパにおいて急拡大していますが、海外メディアから取材されたのは今回が初めての事です。
今後、更に当社の技術を知っていただき、世界で多くの製品に活かされ、役に立って行くことができればと考えています。

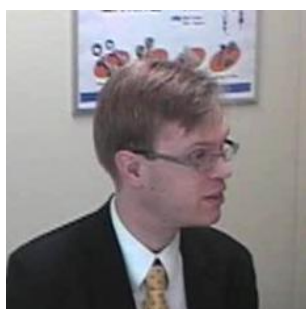
では、今回 KDA を訪問して下さったジャーナリストの方々を紹介します。



Mr. Jonathan Guthrie ジョナサン・ガスリー氏

フィナンシャル・タイムズ紙 エンタープライズエディター兼コラムニスト

ノッティンガム大学卒。1987-1989 年金融専門誌 International Financing Review 誌の株式デリバティブ担当記者。1989-1990 年エコノミスト誌を発行する Economist Group のニュースライター「European Investment Banking」編集者を経て、エコノミスト誌金融担当記者。その後、フリーの編集者、金融出版コンサルタントを経て、1993 年 FT グループ入社。ペンションズ・マネジメント誌担当後、1995 年よりフィナンシャル・タイムズ紙で国内企業、パーソナル・ファイナンス、イングランド中部ミッドランドなどを担当。現在は企業担当エディターとして特にハイテク新興企業に強い関心を持ち、様々な企業に関するコラムを担当。BBC Radio4 の時事問題番組にも出演。



Mr. Robin Harding ロビン・ハーディング氏

フィナンシャル・タイムズ紙 経済論説委員

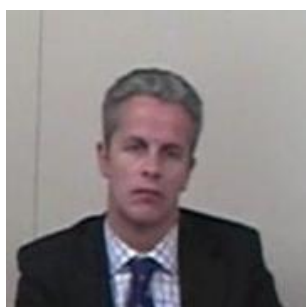
ケンブリッジ大学卒。2000-2002 年オービテックス(現ネプチューン)・インベストメントで欧州の株式及び債権のファンダメンタル分析を担当。2001 -2004 年文部科学省の奨学生として一橋大学に留学。この間、オービテックス・インベストメントのために日本株のリサーチ、インビクタ・インベストメント・マネージメントで日本株売買の分析をパ行う。その後、2004-2005 年ソーシャル・マーケット・ファウンデーションのリサーチ・フェロー、2005-2006 年 HSBC インターナショナル・マネージャーを経て、2006 年 7 月フィナンシャル・タイムズ紙に入社。経済論説委員として、金融、マクロ経済、科学技術、公共政策、英国政治及び国際情勢についての論説の大部分を担当。



Mr. Damian Reece ダミアン・リース氏

デイリー・テレグラフ紙 経済部長

科学技術、通信、パーソナル・ファイナンス等様々な産業分野の担当経験を持ち、金融専門のサンデー・ビジネス紙の創刊に関わる。その後、1999-2003 年サンデー・テレグラフ紙アシスタント・シティー・エディター、2003-2005 年インディペンデント紙シティー・エディターを経て、2005 年デイリー・テレグラフ紙入社。シティー・エディターを経て、2007 年より現職。テレグラフ・メディア・グループの Head of Business として、デイリー・テレグラフ紙、サンデー・テレグラフ紙、ウェブサイト全体の経済面を統括する。ウェブサイト TelegraphTV で毎日配信するニュース番組ビジネス・ショーでのプレゼンターを務める。



Mr. Ashley Seager アシュリー・シーガー氏

ガーディアン紙 経済記者

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス卒。1987 年 JP モルガン投資アシスタント、1988-1989 年 マグロウヒル社記者として石油エネルギー関連速報を提供するプラッツ・オイルグラム・ニュースを担当後、1989 年ロイター通信入社。アムステルダム、ボン支局勤務を経て、1996-1997 年シニア・エコノミクス・デスク・エディターとして株式、経済ニュースとその分析を担当し、財務大臣、イングランド銀行総裁とのインタビューの他、欧州理事会、G7 サミット、IMF 総会等にも参加。2004 年ガーディアン紙入社。英国及び世界経済、開発問題、環境経済全体を担当し、ニュース記事のほか、特集やコラムも執筆。2007 年最優秀経済ジャーナリストの最終選考に残る。